

流域体感ツアー好評

木曾川流域 木と水の
循環システム協議会

木曾川流域 木と水の
循環システム協議会
(有馬孝禮代表理事)

はこのほど、第1期定期総会をTKP名古屋ビジネスセンターで開き、第2期事業計画などを審議・承認した。

特別講演では有馬代表理事が川上と木材業界の連携、木造建築の変遷、国内の森林資源の情勢などを解説した。

同協議会は、木曾川流域材のブランド化と流域経済の活性化などを目的に、木と住まい研究協会中部支部とナイス西日本木材統括部が中心となって昨年5



活動報告や特別講演が行われた

月に設立した。原木供給、製材、流通、工務店などの62社が加盟している。

第1期は、ナイス住まいの耐震博覧会を後援し、活用消費地と流域産業の連携イベントとして木曾川流域体感ツアーを実施した。第2期は、14年度の地域型住宅ブランド化事業に「木曾川流域の住ま

い」で応募したほか、4回の体感ツアー実施、ホームページの内容拡充などを計画している。

活動報告では、協議会の主題である流域思考を説明し、木曾川流域材の商品化事業、ホームページの公開活動、好評を得た体感ツアーの概要などを報告。また、28、29日にポルトメッセなごやで開催される住まの耐震博覧会では「木と住まいのパビリオン」で、木曾川流域フルチヨイスパッケージなど同流域材を使った家づくりや地域資源を活用したライフスタイルなどを提案することを発表した。